

おごおり 議会だより

No.207

令和8年9月号

地元ヤングコーンを使った 三井高校生によるパン作り

P2～6

議会の動き

P7～14

市政を問う・一般質問14人

P15

議案審議結果一覧

P16

9月定例会の会期日程（予定）、編集後記

発行責任 福岡県小郡市議会

議会の新体制

【任期】令和8年5月14日

～令和12年5月13日

丸数字は議席番号
()は所属党派
【 】は所属会派
[]は常任委員会
◎委員長
○副委員長



① 高崎 裕人 (国民民主党)

小坂井329-1 1109号
☎ 090-3608-7192

【結の会】
[都市経済]



② 行平 佳弘 (参政党)

あすみ一丁目63番地3
☎ 090-5737-6273

【結の会】
[保健福祉]



③ 河野 祥子 (日本共産党)

三沢4386番地8 B103号
☎ 080-8764-4143

[保健福祉]



④ 若菜 久徳 (無所属)

光行763番地
☎ 72-4104

[都市経済]



⑤ 松野 美雪 (無所属)

美鈴の杜三丁目6番地9
☎ 080-6419-7657

【結の会】
[都市経済]



⑥ 大塚 光 (無所属)

小郡1266番地1
☎ 72-3051

[〇総務文教]



⑦ 田中 和男 (無所属)

三沢1420番地1
☎ 75-2591

[都市経済]



⑧ 河野 悦子 (無所属)

希みが丘六丁目1番地2
☎ 75-8353

【おごおり創志会】
[〇保健福祉]



⑨ 内山 伸博 (無所属)

干潟714番地1
☎ 72-3887

【おごおり創志会】
[〇都市経済]



⑩ 黒岩 重彦 (無所属)

津古1304番地1
☎ 75-0215

【結の会】
[〇都市経済]



⑪ 甲斐田 典彦 (公明党)

大保1200番地1
☎ 75-4055

[保健福祉]



⑫ 佐藤 源 (無所属)

三沢4225番地309
☎ 64-9550

【おごおり創志会】
[〇総務文教]



⑬ 深川 博英 (無所属)

大坂井167番地7
☎ 80-8170

【結の会】
[〇保健福祉]



⑭ 小野 壽義 (無所属)

三沢3944番地1
☎ 75-6465

【おごおり創志会】
[総務文教]



⑮ 立山 稔 (無所属)

山隈300番地3
☎ 72-3565

【おごおり創志会】
[総務文教]



⑯ 後藤 理恵 (無所属)

希みが丘一丁目11番地4
☎ 75-0287

[総務文教]



⑰ 大場 美紀 (無所属)

大保1343番地2 803号
☎ 090-3322-0897

【おごおり創志会】
[保健福祉]



⑱ 井上 勝彦 (無所属)

寺福重973番地5
☎ 73-3966

【おごおり創志会】
[総務文教]

議長

監査委員

議長就任あいさつ

現在、地方自治体を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化、地域経済の活性化、防災・減災対策など、多くの課題に直面しております。こうした課題に的確に対応するためには、議員一人ひとりが力を合わせ、「チーム議会」として英知を結集し、多様な意見を尊重しながら議論を重ね、市民福祉の向上と持続可能なまちづくりに取り組むことが重要であると考えております。

また、市民の皆様にとって身近で信頼される議会であるためには、市民参画をさらに推進し、議会活動を分かりやすく発信していくことが必要です。まちづくりの主役は市民の皆様です。議会で何が議論され、どのような意思決定が行われているのかを広くお伝えし、市民の皆様の声を市政に反映できる開かれた議会運営に努めてまいります。

さらに、本市には、豊かな自然環境・交通の利便性・歴史や文化・人と人とのつながりなど、多くの強みがあります。こうした地域資

源を最大限に活かしながら、次の世代へ誇りを持って引き継ぐことができる持続可能なまちづくりを進めていかなければなりません。そのためにも、市民、行政、議会がそれぞれの役割を果たし、力を合わせる事が大切です。「チーム議会」で市民とともに未来を創る」という決意のもと、市民福祉の向上と地域の発展に全力で取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

小郡市議会議長 井上 勝彦



副議長
大場 美紀

議長
井上 勝彦

監査委員

立山 稔

議会運営委員会

議会の円滑な運営を図るため、協議・調整を行います。

議会運営委員会としては、15年以上改正されていない「議会基本条例」の見直しを行いたいと考えています。

委員長 小野 壽義
副委員長 内山 伸博
委員 高崎 裕人
委員 松野 美雪
委員 川野 悦子
委員 黒岩 重彦
委員 佐藤 源
委員 後藤 理恵

ハラスメント対策特別委員会

議員と職員の関係及び議員同士の関係において、各種ハラスメントを防止し、根絶するための研修、指針並びに条例等の調査研究を行います。

委員長 大場 美紀
副委員長 黒岩 重彦
委員 甲斐田 典彦

議会広報特別委員会

議会広報特別委員会は主に「議会だより」の作成を担当しています。3年前に紙面の改革を行い、市民の皆さまから「読みやすくなった」との声を頂いています。これから、更に充実した「議会だより」作成に努めてまいります。

◎委員長、○副委員長



行平 佳弘 松野 美雪 ◎小野 壽義 大塚 光 深川 博英 ○内山 伸博

新メンバーでスタート!

◎委員長、○副委員長

総務文教常任委員会

●重点調査項目

- ①防災DXについて
- ②教育DXについて



立山 稔 後藤 理恵 ◎佐藤 源 井上 勝彦
○大塚 光 小野 壽義

保健福祉常任委員会

●重点調査項目

- ①重層的支援体制整備事業について



河野 祥子 行平 佳弘 ◎川野 悦子 甲斐田 典彦
○深川 博英 大場 美紀

都市経済常任委員会

●重点調査項目

- ①ふるさと納税の更なる発展に向けた戦略・施策について
- ②下水処理水の再利用について



高崎 裕人 田中 和男 ◎黒岩 重彦 若菜 久徳
○内山 伸博 松野 美雪

6月定例会

常任委員会 審査報告



※詳細は、QRコードからご視聴ください。

総務文教常任委員長報告

報告第32号

○文化財課

大保ゴルフ場（現在の西鉄大保駅西側に大正15年にオープンした最初のゴルフ場）の開場100周年を記念する文化財普及啓発費として85万8千円の増額補正するものです。

このイベントの時期に対する質問があり、実施は10月頃を予定しているとの答弁がありました。

○新公共マネジメント推進課

新体育館建設事業の入札不調により20億7600万円の減額補正及び新たに入札準備のための設計監理業務委託料520万円を増額補正するものです。

これに対し入札不調の原因について質疑があり、設計内容の問題よりも現在の建設業界を取り巻く状況や各社固有の事情が大きいとの答弁がありました。

また、このことにより国の補助金等の財源に影響はないかという質疑があり、これに対し、本年度内に契約を締結すれば問題がないとの答弁がありました。

更に中東情勢による資材不足等の状況下での入札の見通しについて質疑があり、今回の再積算業務の中で、その影響を考慮し、再積算を行っていくとの答弁がありました。

保健福祉常任委員長報告

報告第5号

○国保年金課

高所得層に対する国民健康保険税の賦課限度額の引き上げと、低所得層に対する国民健康保険税の軽減措置の拡充を行うものです。

議案第29号

○健康課

あすてらすの温泉ゾーン内のカラオケの利用者が減少していることにより、令和8年10月31日をもって廃止するため条例の一部を改正するものです。

議案第32号

○福祉課

平成25年から実施された生活扶助基準改定に関して、令和7年6月の最高裁判決において、当時の基準が違法と判断されたことに伴い、生活保護扶助費3782万4千円を増額するものです。

これに関し、委託の内容はどういうものかとの質疑がありました。これに対し、廃止世帯への受付業務の委託の詳細については、廃止世帯からの申請書の受理、問い合わせ対応、書類不備の対応、そして額の算定をセンター方式で実施することを予定していますとの答弁がありました。

都市経済常任委員長報告

報告第7号

○農業振興課

森林づくり推進費の26万2千円の増額補正は、国から譲与される森林環境譲与税を小郡市森林環境譲与税基金条例により基金に積立てるものと説明を受けました。

この説明に関して、専決補正後の基金残高と用途について質疑があり、残高は約2912万円であり、用途についてはこれまで各公共施設の県産木材を使用した備品購入などに充当しているとの答弁がありました。

報告第32号

○生活環境課

一般廃棄物処理費、消耗品費922万円の増額補正は、小郡市の指定ごみ袋について、原油由来のナフサを処理したポリエチレン原料から製造されていますが、中東情勢の影響により国際価格が2倍となり、ごみ袋の安定供給を目的に変更契約を行う必要があるものと説明を受けました。

この説明に関して、市民への影響はないかとの質疑があり、市民への販売価格については、値上げをする予定はありませんとの答弁がありました。

市議会

庁舎建設特別委員会報告

6月19日、委員(議員18名)全員出席のもと、関係職員の出席を求め、新庁舎建設に向けた審議会の進捗状況についての説明を受けました。

◆第4回 審議会で論議された内容報告

- 国の指針に沿った防災機能の充実
- 地域性を踏まえた庁舎デザイン・シンボル性
- 市民のニーズを踏まえた窓口機能・支援機能
- 職員がスムーズに業務・連携が取れる環境整備
- 将来を見据えた可変性を備えた設計
- 市民の憩いの場、情報収集ができる交流スペースの充実
- 位置に求められる条件について

今後も情報共有を図るとともに市民の声を反映し、新庁舎建設に向けた責務を果たしてまいります。



議員研修会

テーマ 小郡市議会基本条例について

令和8年6月4日に前小郡市議会議員の田中雅光・新原善信両氏を講師に迎え、全議員で小郡市議会基本条例の研修会を行いました。

小郡市議会は、小郡市長とともに市民の負託を受け、二元代表制のもとに、小郡市の代表機関を構成しています。議会は、地方自治の本旨に基づき意思決定機関及び行政の監視機関としての機能を十分に発揮しなければなりません。

この条例は、議会及び議員活動の充実と活性化のために必要な議会運営の基本的事項を定めることによって、市民の負託に的確に応え、市民福祉の向上及び市政の発展に寄与することを目的として、全国の自治体に先駆けて、平成22年5月14日から施行されました。講師を務められた田中・新原両氏による「小郡市議会基本条例」制定までの経緯説明を受けて、策定経験者としての熱意を感じました。この条例は、議会における最高規範であり、各議員が条例を理解した上で遵守するものです。





※一般質問の部長答弁は色分けしています。

環境経済部長	………	部長	都市建設部長	………	部長	こども・健康部長	…	部長
経営政策部長	………	部長	市民福祉部長	………	部長	教育部長	………	部長

6月定例会一般質問通告一覧表

個人質問													代表質問																												
2 1	情報アクセシビリティ及び意思疎通支援について 自治体DX及び業務改革推進と市民サービス向上について	大場 美紀	2 1	高齢者の居場所づくりと健康支援について 児童生徒の多様な学びと進路支援について	川野 悦子	2 1	生成AIの活用について 投票率アップに対する市の考え方を問う	佐藤 源	1	若者に選ばれるまちづくりについて	田中 和男	2 1	「第三の学び場」事業について 小・中学校の教職員の配置の状況について	大塚 光	1	小・中学校の体育館におけるエアコンの設置について	後藤 理恵	1	市民の政治参加について	高崎 裕人	2 1	ナフサ不足による小都市の事業や市内の業者への影響について 国民健康保険について	河野 祥子	2 1	屋外スポーツ施設の維持管理と利用環境整備について 災害リスクを見据えた地域農業の維持について	若菜 久徳	2 1	宝満川支流河川の治水対策について 防火水槽の維持管理について	内山 伸博	2 1	「小都市こども計画」に基づく教育・子育て予算の拡充について 外国人人口急増に伴う今後の市政運営と施策の優先順位について	行平 佳弘	2 1	スーパーマーケット撤退問題 空き家について	松野 美雪	2 1	子宮頸がんワクチン接種促進と2回接種制度について 高齢化を踏まえた投票環境と主権者教育の充実	甲斐田典彦	2 1	都市計画道路整備の現状と課題について 地域の課題解決に向けた取り組みについて	黒岩 重彦 みらいの会

一般質問の記事については、議場での発言に基づき、質問者（議員本人）が要約して編集したものです。



みらいの会
黒岩 重彦



議員
都市計画道路整備の
現状と課題は何か

市長 現在、市南西部を縦断する下町・西福童16号線4期事業の整備を行っており、

次にその北側の5期区間の整備を予定している。

縦の路線で交通渋滞している
ので加速しての整備は。

部長 筑紫祇園線は、都市計画道路整備プログラムでも短期路線となっており、次に整備していく路線としては有力と考えている。

規制緩和の考えは。

市の高校1年生、中学1年生の初回接種率を問う。

部長 高校1年生相当46・8%、中学1年生は18・2%で全国平均と比べ低い。

接種率向上の取り組みは、いつ頃までに、どのような形で進めるのか。

部長 夏休み中に1回目の接種を促すため、中学2年生へ勧奨案内を通知する考えだ。

部長 建築許可基準の規制緩和は、他の自治体では事例はあるが、現時点では将来の財政負担増や、事業進捗の影響もあり考えていない。

議員
地域の課題解決に向けた取り組みは

市長 地域の声を丁寧に向い、緊急性、安全性、公共性、整備効果などを総合的に勘案しながら、課題解決に取り組んでいく。

校区要望事項と行政区要望の違いは。

部長 校区が抱えている課題の最優先事項なので、その校区から1件あがってきた事項については、きちんと事業を行っていく。

校区要望は小学校校区なのか中学校校区なのか。

副市長 三国校区の区長会は、中学校校区で決めているので

教育長 こどもの権利条例を踏まえ、主体的に社会と関わりを深めるよう充実を図る。

学校での主権者教育の具体的な取り組みを問う。

議員
高齢者の投票と主権者教育の充実を問う

市長 期日前投票所の増設を高齢化・共働きに考慮し利便性向上を図る検討が必要。

主権者教育の充実を問う。

一つの校区区長会と捉えており、小学校区になれば、その時点でも対応していく。



地域課題解決に向けた取り組みは住民目線です!!

市長 イオン小郡店より協力の言葉があり、市は準備を進め実現を目指し努力する。



議員
子宮頸がん予防と2回接種推進を問う

公明党
甲斐田 典彦



市長 15歳未満の2回接種は負担軽減に繋がり、周知を進め接種率向上に努める。

市長 ともに寄り添いあうま
ちを基本目標とし、今後も
こどもの権利条例とこども

議員
子育て予算拡充への
市長の政治姿勢は

参政党
行平 佳弘



市長 地域住民の皆様の利便
性向上と駅前のにぎわいの
創出に引き続き取り組んで

議員
三国が丘駅前スーパ
ー撤退問題を問う

松野 美雪



いく考えである。

小売店が撤退した地域の買
物弱者や高齢者への影響は、

部長 令和5年実施の無作為
抽出した千人へのアンケー
トでは、65歳以上の4%が
自分で買物できないと回答
している。特に三国が丘駅
東側では、スーパー撤退に
より買物に不便を感じると
の声があり、少なからず影
響があると認識している。

計画に基づいた具体的な取
組を推進していく考えだ。

給食無償化で質と量は保た
れるか。

部長 物価高騰が続いている
が、可能な限り地場産野菜
を活用できるよう工夫し、
必要な栄養が摂取できる給
食を提供し、質と量を担保
する。

小学校体育館への空調設置

地域主体の移動店舗等の提
案に対しての支援は、

副市長 地域の皆さんが立ち上
がれば、車両の支援はでき
る。

議員
空き家についての実
態把握と対応状況は

市長 空き家の増加による地
域の防災、防犯、環境など
へのリスク対策は、今後も
関係機関とも連携をして進
めていく。

の計画は、

部長 中学校を先行し、小学
校は令和15年までのできる
限り早い段階で設置できる
よう検討を進める。

議員
外国人人口急増への
今後の市政運営は

市長 外国籍の市民の数は、
1943人で重要な役割を
担う存在であるが、培われ
てきた地域社会の安心安全
を守り、日本人を含む全て

管理不全空家、特定空家の
推計数は、

部長 令和5年度調査では、
小郡市の空き家の推計数は
2230戸となっている。

空き家問題を一元的に担当
するプロジェクトチームが
必要ではないか。

副市長 一元化や体制強化は課
題と認識しているが、国税
の話であり、課題解決がで

の市民が安心して暮らせる
共生社会の実現を目指す。

総合振興計画の多文化共生
の指標に日本人市民の声を
入れるか。

部長 日本人市民の視点がない
ことは課題であり、双方
の視点を反映できるよう検
討していく。

外国籍の市民増加への全庁
的な連携体制は、

きてないという苦しいこ
ろである。



駅前に再び地域の賑わいを

部長 各課が連携して苦情等
に対応し、文化交流や地域
活動にも取り組んでいる。



小学校で子どもたちが食べている給食



おごおり創志会
内山 伸博



議員
宝満川支流河川の先行排水について問う

市長 大雨前に河川やため池の水位を低下させる先行排水は、令和4年度から取組

みを始め、現在のはため池や中小河川、幹線水路に及ぶまで農業関係者の協力の下に段階的に広げている。

田んぼダムの効果は。

部長 田んぼダムの効果は、水路の水位上昇を緩やかにし、下流域の浸水被害軽減に繋がるものである。

支流河川の先行排水状況は。

管理し、大規模な改修は計画的に対応している。

利用者の要望をどう反映するか。

部長 現地を確認し、必要に応じ修繕や対応を行う。

議員 ネーミングライツや民間連携による財源確保の考えは。

部長 手法の一つとして、ネーミングライツ導入効果な

部長 支流河川の先行排水は、堰の管理者を対象に説明会を実施し、管理者にご理解とご協力をいただき、令和6年度から取組んでいる。

議員
私設防火水槽の現状把握について問う

市長 市以外の防火水槽についても、定期点検の対象としており状況を把握し管理が不十分な場合、管理者に対し、その都度、適切な管

理を指導している。

何故、市に帰属されていないのか。

部長 市への寄附を望まれない、区で維持したり、私設での維持を望まれたりしている。寄附を望んでも、消防水利の基準を満たしていないことが考えられる。

把握している私設の分は、何箇所くらいあるのか。

災害が地域農業に与える影響は。

部長 災害は離農や営農断念につながる恐れがある。

離農や営農断念をどう防ぐか。

部長 県と連携し、早期再建と事前防災を進める。

地域農業を次世代へつなぐには。

部長 防火水槽が公設・私設合わせて291基、内私設は73基となっている。



柵が老朽化した私設防火水槽

部長 担い手育成と収益確保で地域農業を支える。



誰もが利用しやすい施設へ

部長 二十数年低下傾向にあり選挙離れが起きている。今回も下がり残念だ。

議員
今回の小郡市議選の投票率の受け止めは

国民民主党
高崎 裕人



投票率は特に若年層が低い傾向にあるが、どのような

部長 現在は予定しておらず、必要に応じて対応する。

投票率向上のために、調査や分析を行う予定は。

部長 今回も目標設定はしていなかった。

投票率の目標は設定していたのか。

部長 期日前投票は大型商業施設等、様々な方法について、今後検討していきたい。

他市では、移動式期日前投票所を導入しているが、本市では公平な投票の機会の提供はどのように考えているのか。

部長 SNSを活用する必要があると考えている。

啓発を行っているか。

市民のニーズや市の課題を把握するため、分野別の件数の公表はしないのか。

部長 インターネットを通じて、寄せられたものについては丁寧に回答している。

市民の声を市政に届ける仕組みの充実について、市HPに「市長への手紙」があるが現在どのような運用がされているのか。

部長 HPをリニューアル予定なので、その中で検討していきたい。



市長 市内の事業者は材料の入荷困難や、価格上昇など影響が生じている。

議員
ナフサ不足の小郡市への影響は

日本共産党
河野 祥子



農家への影響はあるか。

部長 ゴミ袋は常時5か月分ほど、確保しているので安定供給できる。

ゴミ袋が不足し、値上げするの。

部長 原料が2倍以上に高騰している。

市指定のゴミ袋のコストは上がったのか。

市長 国保財政は概ね黒字収支を維持、一人当たりの負担額は県内平均的、制度の安定や持続可能な運営に努めていきたい。

議員
国民健康保険制度について問う

部長 特別相談窓口を設置。

国や県の対応は。

部長 農業用ビニールの一部在庫切れや入荷遅れがある。

部長 市の窓口等で加入者の

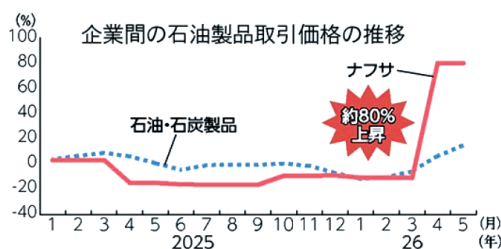
収入の高い方が、最低限の社会保険料で済ますような事例は市でわかるのか。

部長 65歳以上が42%。

加入者の年齢構成は。

部長 所得200万円以下が72%。

国保加入者の所得の現状は。



実態を把握することは困難である。



後藤 理恵



議員
小・中学校の体育館
のエアコン設置は

市長 まずは中学校の体育館から整備を行う予定で、今年度は実施計画を秋までに

小学校こそ優先度が高いのではないか。

いつ小学校の設計に着手するのか。

することができるか。
副市長 明言はできない。

行い、来年度中に工事に着手する予定だ。また、小学校については、国の有利な補助を活用できる令和15年度までに、できるだけ早期に整備をしていく予定としている。

部長 小・中学校13校の一斉整備は財政面も事務事業量の面も厳しいため、中学校を先行して進めている。

優先順位と整備年度、年次計画を策定する予定はあるか。

中学校が先、小学校は未定という状況か。

防災関連の面で考慮はされたのか。

副市長 実施時期が明確になり次第、速やかに議員の皆様へ報告する。

来年度の予算編成までに示



すめている。

居場所づくりの想定は。

部長 産休・育休の取得率は上がってきている。

務の見直し改善を計画的に進めている。

メタバース空間をどのような形で導入するか。

部長 こどもから高齢者までを対象とした事業を展開していくことを検討中。

講師や支援員の募集は。

部長 メタバース空間で、りんく小郡とつなぎ、検討を重ねる学校に広げていきたい。

議員 本年度小・中学校の教職員配置状況は

部長 実際に働いている方への声かけや、市のホームページ、学校にも相談の上、幅広く探している。

議員
第三の学び場事業の
構想と進捗状況は



教養長 不登校対策、図書館改革、あらゆる世代の居場所づくりの三分野で取組をす

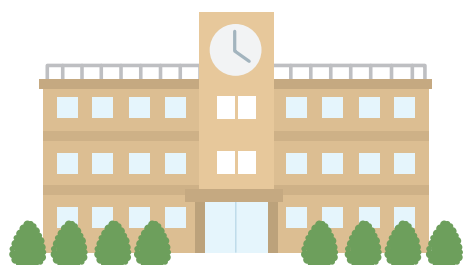
図書館改革の内容は。

部長 滞在型多機能図書館を目指し、現在取組んでいる。

教養長 基準定数は確保できたが産休・育休・病休などにより、一部未配置はある。

欠員があつた時の配慮は。

教養長 特別の負担軽減措置は難しい。市全体の視点で業



市長 事務の効率化や生産性向上につながると考えている。利用ガイドラインを作る。

議員 生成AIをどのように活用していくのか

おごおり創志会
佐藤 源



市長 小都市の人口動態の傾向として自然減の拡大、20歳代の転出超過の状況がある。

議員 若者に選ばれるまちづくりについて問う

田中 和男



若年層については、就学そして就職の影響が大きく、若年層の流出が続けば、地域の担い手の減少、将来の出生数や税収基盤などに影響が生じかねない課題であると認識している。

市が実施している若者定住対策について尋ねる。

部長 小都市で魅力的に暮らせると感じるような環境を高めていく視点が必要と考

成し、本年度より全庁的に本格導入を行っている。

どこから導入したのか。

部長 案内文等の作成。議事録の要約。企画のアイデア出し。法令解釈の検索などに使用している。

学校現場での活用はできているか。

教育長 研修や会議資料の作成。

えている。土地の用途の見直しによる住環境の整備、子育てしやすい環境の整備等に努め、このような施策が若者の目に止まるようなSNSを活用した情報発信も、今以上に行っていく必要があると考えている。

若者の定住促進、地域活性化を図る観点から空き家や空き店舗をアトリエやギャラリーとして活用するなどの考えはないか。

保護者宛ての文書の原案作成。授業の教材資料の作成などに利用している。一方、こどもたちは本格活用には至っていないが、活用が徐々に広がっている。

議員 投票率アップに対する市の考え方は

市長 投票率は低下傾向にあり、全国的にも課題になっている。様々な啓発活動を行い、投票率の向上を目指している。

部長 若者定住策の一つの視点として受け止め、今後の施策検討の参考とさせていただきます。

コストコとの連携による市の魅力発信やシティブロモーションの強化は。

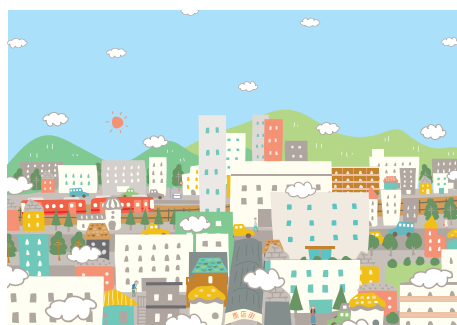
市長 例えば、観光農園とかでコストコのカードを持つて来ると特典があるというような形で工夫されているところもある。様々な形で

期日前投票所を今の生涯学習センターだけでなく、イオンと同時に開ける協議をしているのか。

部長 生涯学習センターは期日前投票所として残して、大型商業施設に数日間、期日前投票所ができないのか考えている。

二重投票の問題はどのようにクリアするのか。

交流人口の広がりを持たせていくことが大事なポイントになる。



若者が住みたいと思えるまちづくりを！

部長 投票したかどうか分かるネットワークの設定を考えている。



生成AIの利用で業務の効率化を



川野 悦子
おごおり創志会



議員
高齢者の居場所と健康づくりの方向性は

市長 協定締結を契機に、他の民間事業者に呼びかけ協力を得、積極的に進めたい。

重層的支援体制整備事業の参加支援は。

部長 地域資源を必要にに応じて活用し、外出のきっかけになればと考えている。

参加者にとっての利点は。

部長 おごおり健康・介護予防ポイント事業の対象として、友人、知人と気軽に楽しみながら、参加できるきっかけづくりを考えている。

高齢者への周知方法は。

部長 見守り支援台帳の登録対象者に登録案内を郵送する際、取組みや他の事業案内も同封し周知啓発を図る。

議員
児童生徒の進路支援の今後の方向性は

教育長 こどもたちが希望を持つて前に進み、自分の良さを輝かせて幸せな未来を生きていけるよう、学校や保護者、地域、専門機関等の

連携、支援体制を整え、学びの多様化に係る支援を進めていく。

専門性のある進路支援が必要だと思うが、考えは。

教育長 他市等で先進的な人材活用例があれば成果と課題を聞きながら検討していきたい。

今後、どのような考えで教育行政を進めていくのか。

業務を効率化して集約できた人材を、どのように活用するの。

部長 相談業務の充実や新たな行政課題への体制づくりに充てている。

危機管理等についてどのように考え整備しているか。

部長 情報セキュリティポリシー基本方針を策定している。本方針に則り、情報の

システム健全化と安全体制に努めていく。



高齢者の居場所と健康づくり

教育長 個別最適な学びの環境をつくることを、しっかりと実現していきたい。



大場 美紀
おごおり創志会



議員
手話言語条例制定の進捗状況は

部長 早期の制定を目指し、関係者、関係団体と調整を図っていききたい。

障害者情報アクセシビリティ推進法や、合理的配慮に関する職員研修を行っているか。

部長 職員全体に関しての研修実績はない。手話言語条例制定後、人事担当と連携・協議し実施していききたい。

受付窓口や図書館などへのコミュニケーションボードは設置しているか。

議員
自治体DXと業務改革でサービス向上は

市長 デジタル技術の活用により住民の利便性を向上させる。業務効率化により、人的資源を市民サービス向上へつなげる。



令和8年5月臨時会 議案審議結果一覧

議案番号	事 件 名	審議結果
同意案第1号	監査委員の選任について	同 意

令和8年6月定例会 議案審議結果一覧

議案番号	事 件 名	審議結果
報告第5号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (小郡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承 認
報告第6号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (小郡市税条例の一部を改正する条例)	承 認
報告第7号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (令和7年度小郡市一般会計補正予算(第10号))	承 認
議案第27号	小郡市土地開発公社の解散について	可 決
議案第28号	小郡市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案第29号	小郡市総合保健福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案第30号	小郡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案第31号	小郡市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案第32号	令和8年度小郡市一般会計補正予算(第1号)の承認について	可 決
議案第33号	令和8年度小郡市下水道事業会計補正予算(第1号)の承認について	可 決
議員提出 第2号	庁舎建設特別委員会の設置について	可 決
議員提出 第3号	ハラスメント対策特別委員会の設置について	可 決
議員提出 第4号	議会広報特別委員会の設置について	可 決

※賛否については、ホームページをご覧ください。



5月臨時会



6月定例会

9月定例会の会期日程(予定)

8月25日(火)	本会議(議案上程)	9月 8日(火)	保健福祉常任委員会
8月27日(木)	本会議(質疑)	9月 9日(水)	都市経済常任委員会
8月31日(月)	決算審査特別委員会	9月14日(月)	本会議(一般質問)
9月 1日(火)	決算審査特別委員会	9月15日(火)	本会議(一般質問)
9月 2日(水)	決算審査特別委員会	9月16日(水)	本会議(一般質問(予備日))
9月 3日(木)	決算審査特別委員会(予備日)	9月18日(金)	本会議 (委員長報告と質疑・討論・採決)
9月 7日(月)	総務文教常任委員会		

請願・陳情

市政等について意見や要望がある場合、どなたでも直接市議会に請願・陳情を提出することができます。
議員の紹介のあるものを請願、紹介のないものを陳情といいます。請願と陳情にはその取扱いに次のような違いがあります。

請願

定例会で審議し、その内容が妥当と認められるものについては、採択し、必要な対応を行うとともに、その結果を請願者に通知します。

陳情

全議員にその写しを配布します。
請願、陳情については、随時受け付けておりますが、各定例会での審議の都合上、締め切りがございます。
請願・陳情の提出方法、その他ご不明な点等がございましたら、議会事務局にお問い合わせください。

小郡市議会予算・決算審査特別委員会の

インターネット中継が始まります。

小郡市議会のホームページから、本会議(過去5年間)及び常任委員会の生中継・録画映像がご覧になれます。

令和8年9月定例会から、予算・決算審査特別委員会の生中継もご覧いただけます。
ぜひ、ホームページで生中継・録画映像をご覧いただき、皆さまのお声を聴かせて下さい。



編集後記

市内の田んぼを見渡すと、各地域で田植えが終わり、水田は小さな細い苗で薄い緑色一面になっています。近年では機械の進化で、苗の育成方法や植え付け方法など変わりましたが、この時期の水田は今も昔も変わらぬ美しい風景に感じます。

毎年のように、温暖化が進み、今年の夏も猛暑と気象庁が予報しています。また、スーパーエルニーニョ現象で台風の発生が多いとされています。

昨年は米の価格高騰で市民に大変混乱を招きました。今年は米をはじめ農産物が順調に収穫されることを願います。

(小野 壽義)

議会広報特別委員会

委員長 小野 壽義
副委員長 内山 伸博
委員 行平 弘
委員 松野 美雪
委員 大塚 光
委員 深川 博英